

# 大阪府におけるアレルギー 疾患対策について



大阪府健康医療部保健医療室地域保健課

# アレルギー疾患の現状と課題

# 大阪府のアレルギー疾患の現状と課題

## ◆ アレルギー疾患患者の状況

国民の2人に1人がアレルギー疾患に罹患していると言われており、患者数は近年、増加傾向  
⇒多くの府民もアレルギー疾患に悩みを持っていることが推測される

## ◆ アレルギー疾患対策の課題

### 1. 正しい知識の情報発信

アレルギー疾患は、症状が多様なうえ、治療方法も様々なことから、膨大な情報が氾濫している、中には健康に悪影響を及ぼす情報もあり、適切な治療の開始が遅れた結果、症状が悪化してしまうケースが多く発生

**【課題1】最新の医学的な知見を踏まえ正しい情報発信及び啓発が重要**

### 2. アレルギー疾患医療の提供体制

- ・アレルギー科を標榜している医療機関の中で、アレルギー診療責任者が日本アレルギー学会専門医である割合は約3割（厚労科学研究「アレルギー疾患対策の均てん化に関する研究」）
- ・医師や医療機関の地域偏在  
⇒ 府内におけるアレルギー学会認定の教育研修施設やアレルギー学会専門医は、大阪市内及び北部地域には多いが泉州地区は少ない。
- ・診療が必ずしも最新の診療ガイドラインに基づいた標準的なものではない場合がある。
- ・地域の診療所等では診断が困難な場合や、標準的な治療では症状が安定しない場合は、専門性の高い医療機関を受診する必要があるが、症状にあった適切な医療や専門医の情報を入手する環境の整備が十分ではない。

**【課題2】地域での診療連携体制の構築と医療従事者の質の向上が重要**

# 大阪府のアレルギー疾患対策について

## 【目的】

「アレルギー疾患対策基本法」、「アレルギー疾患対策の推進に関する基本指針」を踏まえ、医療提供体制の整備やアレルギー疾患の普及・啓発・情報提供等のアレルギー疾患対策を総合的に推進し府民のアレルギー疾患の発症・重症化予防や症状改善に繋げる。

## 【法・指針を踏まえた事業の実施】

### 府におけるアレルギー疾患の実態把握

- ・拠点病院や関係機関とも連携し府内の医療提供体制の実情や患者の実態把握に努めるとともに府のアレルギー疾患に係る課題解決に向け、当面は、**下記事業を重点的に実施**



### 【課題1】最新の医学的な知見を踏まえ正しい情報発信及び啓発が重要

#### 【施策1】正しい知識の普及と情報発信

- ・府民向け講演会の開催
  - ・ホームページ等による情報提供（府、拠点病院ホームページによる発信の強化）
- ⇒ 本会議での意見を踏まえ「大阪府アレルギー疾患医療拠点病院」と連携して実施

### 【課題2】地域での診療連携体制の構築と医療従事者の質の向上が重要

#### 【施策2】医療提供体制の整備

- ・大阪府アレルギー疾患医療拠点病院の選定
  - ・地域における診療連携体制の構築
  - ・診療ガイドラインに基づく標準治療の普及
  - ・医師をはじめアレルギー疾患に関わる医療従事者向け研修の実施
- ⇒ 本会議での意見を踏まえ、地域における診療ネットワークの中心となる拠点病院と府が協同して取り組む

# 施策1 正しい知識の普及と情報発信

## 府ホームページによる情報提供

「大阪府アレルギー疾患ポータルサイト」の開設  
(<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikansen/allergy/index.html>)

大阪府アレルギー疾患対策ポータルサイト

更新日:平成30年7月19日

最新情報

- 2018年6月12日 大阪府アレルギー疾患対策ポータルサイトを開設しました。

お知らせ・ご案内

- 平成30年7月18日 講演会「園や学校でのアレルギー対策」それぞれの役割が明確されます。[PDFファイル/219KB]
- 平成30年7月 2日 食養生のための大阪食物アレルギー研究会(夏季研究会)のご案内(外部サイト)
- 平成30年6月20日 日本小児アレルギー学会が「気象時の子どものアレルギーに関する相談窓口」を開設しています。(外部サイト)
- 平成30年6月20日 気象時の子どものアレルギー疾患対策のシフレット [PDFファイル/1.59KB]
- 平成30年6月12日 大阪府アレルギー疾患対策ポータルサイトを開設しました。

アレルギー疾患について



○アレルギーは、原因物質である「アレルゲン」と呼ばれる通常、無害な物質に対して過剰反応を生じさせる免疫系の機能不全の1種です。「アレルゲン」には、花粉やほこり(ハウスダスト)、食物など、身近にある様々な物質がなりうる可能性があります。

○現在、我が国では、国民の2人に1人が気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、花粉症、食物アレルギーなどのアレルギー疾患に罹患していると言われており、アレルギー疾患は増加傾向にあります。

### 【掲載内容】

- ・お知らせ・ご案内 ⇒ 各種イベントの告知や重要な情報を掲載
- ・アレルギー疾患について ⇒ アレルギー疾患の特性などについて
- ・講演会・研修会の開催 ⇒ 府主催の講演会や研修会の告知や報告
- ・アレルギー疾患に関する情報  
医療機関情報、専門医情報、相談窓口のご案内
- ・花粉症総合ページ ⇒ 花粉の飛散状況など
- ・その他 ⇒ 国からの通知や法関係通知など

府民のニーズに応じた  
内容に充実させる必要  
がある

# 府民向け講演会の実施

## 「大阪府アレルギー疾患講演会」の開催

アレルギーに関する正しい知識を持った府民の増加を目指し、平成28年度から実施

	平成28年度	平成29年度
開催日	平成29年3月11日(土) 13:00~16:00	平成30年3月25日(日) 13:00~16:30
会場	東京海上日動(株)大阪支社 会議室	東京海上日動(株)大阪支社 会議室
参加者	240名	190名
テーマ 講師	○「食物アレルギー」 講師:大阪はびきの医療センター 亀田 誠先生  ○「アトピー性皮膚炎」 講師:大阪はびきの医療センター 片岡 葉子先生	○「アレルギー疾患について」 講師:大阪はびきの医療センター 田中 敏郎先生  ○「食物アレルギー」 講師:大阪はびきの医療センター 亀田 誠先生  ○「アトピー性皮膚炎」 講師:大阪はびきの医療センター 片岡 葉子先生  ○「花粉症」 講師:大阪はびきの医療センター 川島 佳代子先生

# 講演会 当日の様子 (平成28年度実施)

**大阪府アレルギー疾患講演会**  
 ~正しく知ってアレルギーと向き合う~

国民の2人に1人が何らかのアレルギーをもっているという調査結果もあり、いまやアレルギーは「国民病」とも言われています。アレルギーは正しい知識をもって適切な対応をすることで、上手にコントロールすることができます。  
 この講演会では、府民のみならずアレルギー疾患について正しく理解していただくために、専門医が最新の治療法や正しい対処方法などについてお話しします。  
 ご家族がアレルギー疾患の方、保育園や学校関係者の方、アレルギーについて知識を深めたい方など、広く府民のみならずのご参加をお待ちしております。

**日時** 平成29年 **3月11日(土)**  
 13:00~16:00 (受付は12:15から)

**会場** 大阪東京海上日動ビルディング  
 2階 大会議室  
 (大阪市中央区城見2-2-53 ※裏面地図参照)

**参加費** **無料**  
定員200名 要予約

**講演1**  
**『正しく知ろう! 食物アレルギー』**  
**講師**  
 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター  
 小児科 主任部長 亀田 誠 先生  
 (日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医)

**講演2**  
**『もう迷わないで! アトピー性皮膚炎』**  
**講師**  
 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター  
 皮膚科 主任部長 片岡 葉子 先生  
 (日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会指導医、日本心身医学会専門医)



# 講演会 当日の様子（平成29年度実施）

## 大阪府 アレルギー疾患講演会

### 知って安心！みんなで学ぼう！



国民の2人に1人が何らかのアレルギーを患っているという調査結果もあり、いまやアレルギーは「国民病」とも言われています。アレルギーは正しい知識をもって適切な対応をすることで、上手にコントロールすることができます。

この講演会では、府民のみなさまにアレルギー疾患について正しく理解していただくために、専門医が最新の治療法や正しい対応方法などについてお話しします。ご家族がアレルギー疾患の方、保育園や学校関係者の方、アレルギーについて知識を深めたい方など、広く府民のみなさんのご参加をお待ちしております。

**日時：**平成30年3月25日（日）  
**13:00～16:30**（受付は12:00から） **定員200名 参加費無料**

**会場：**大阪東京海上日動ビルディング **事前申込制先着順**  
 2階 大会議室（大阪市中央区城町2-2-53）

プログラム	講師：田中 敏郎 先生	地方独立行政法人大阪府健康福祉局 アレルギー科の政策センター 課長
講演 1	「分かって安心、食料アレルギーの A to Z」 講師：亀田 誠 先生	地方独立行政法人大阪府健康福祉局 大阪府アレルギー政策センター 小児科主任医師
講演 2	「重症アトピー性皮膚炎の治療 - 新しい治療の考え方、新しい治療薬 -」 講師：片岡 葉子 先生	地方独立行政法人大阪府健康福祉局 大阪府アレルギー政策センター 皮膚科主任医師
講演 3	「花粉症シーズンを快適に過ごすために」 講師：川島 佳代子 先生	地方独立行政法人大阪府健康福祉局 大阪府アレルギー政策センター 呼吸器科主任医師
総合討論	講演3名が皆様からあらかじめ頂いた質問にお答えします。	

【主催】 大阪府  
東京海上日動火災保険株式会社  
地方独立行政法人大阪府健康福祉局大阪府アレルギー政策センター  
公益財団法人日本アレルギー協会関西支所

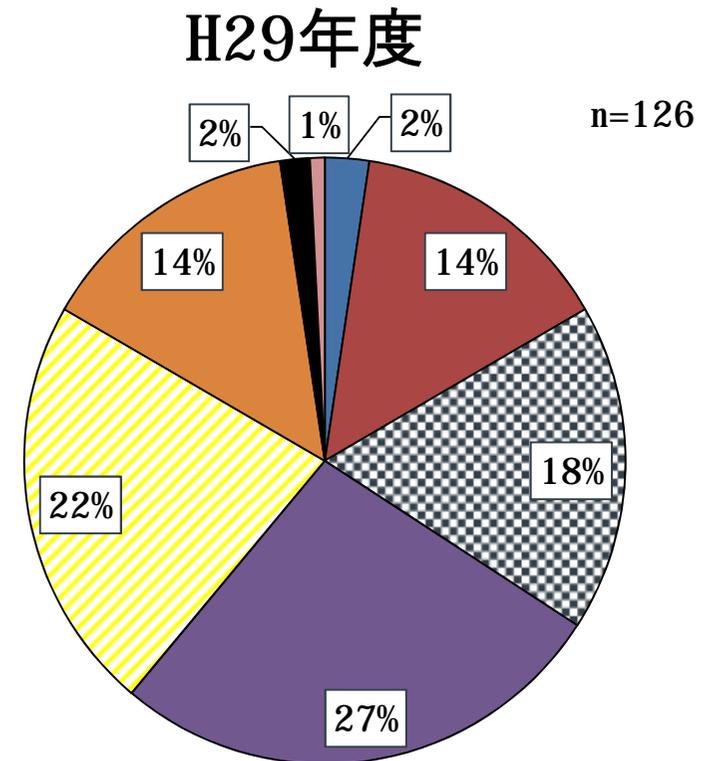
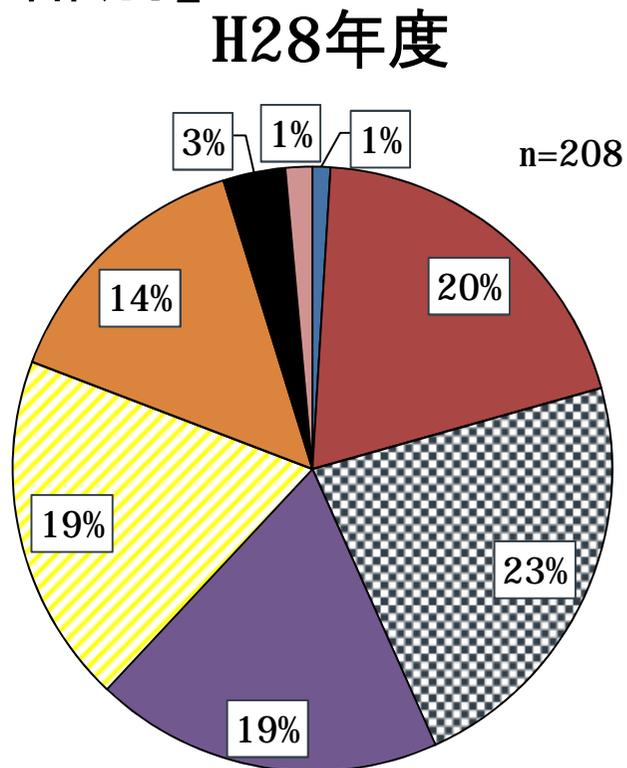
【問い合わせ先】  
健康福祉局健康福祉政策推進課  
アレルギー対策・連携グループ  
06-6964-8897

お申込み方法については、裏面をご確認ください！



# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

## 【年齢別】



- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上
- 未記入

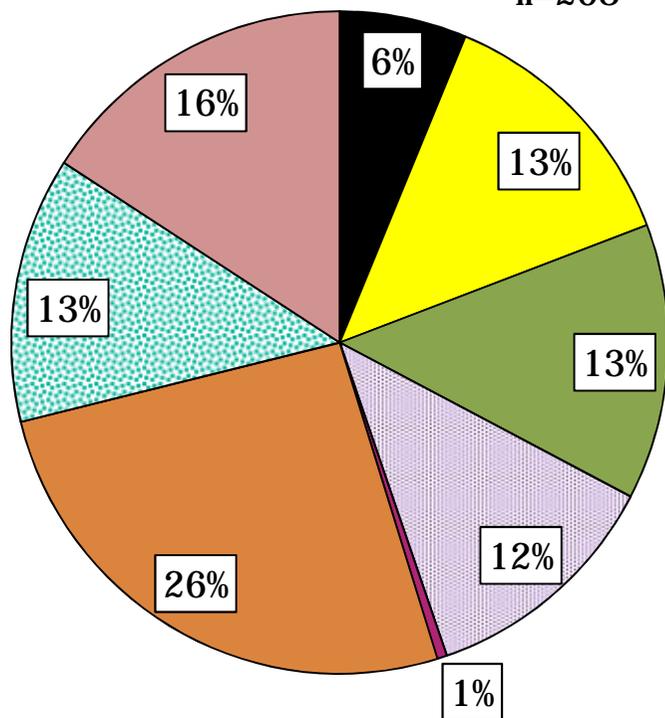
⇒ 10代から70代まで幅広い年齢層の方が参加

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

## 【参加者属性別】

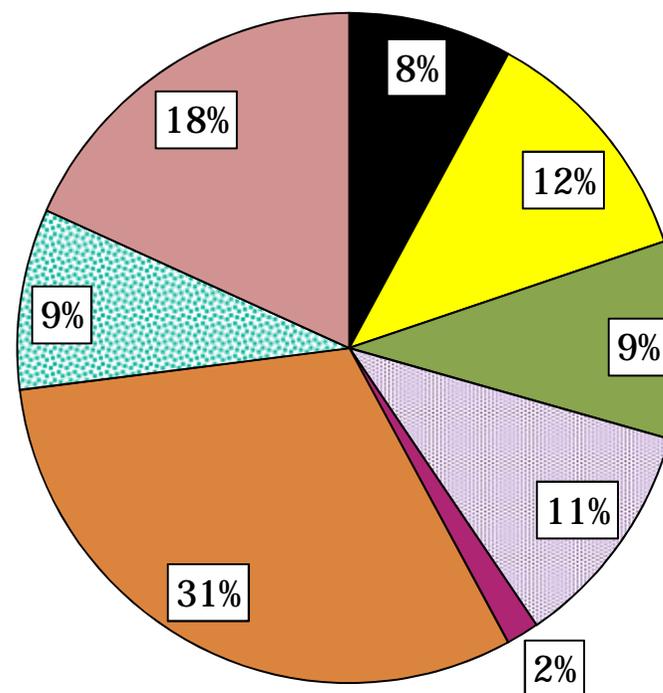
H28年度

n=208



H29年度

n=126

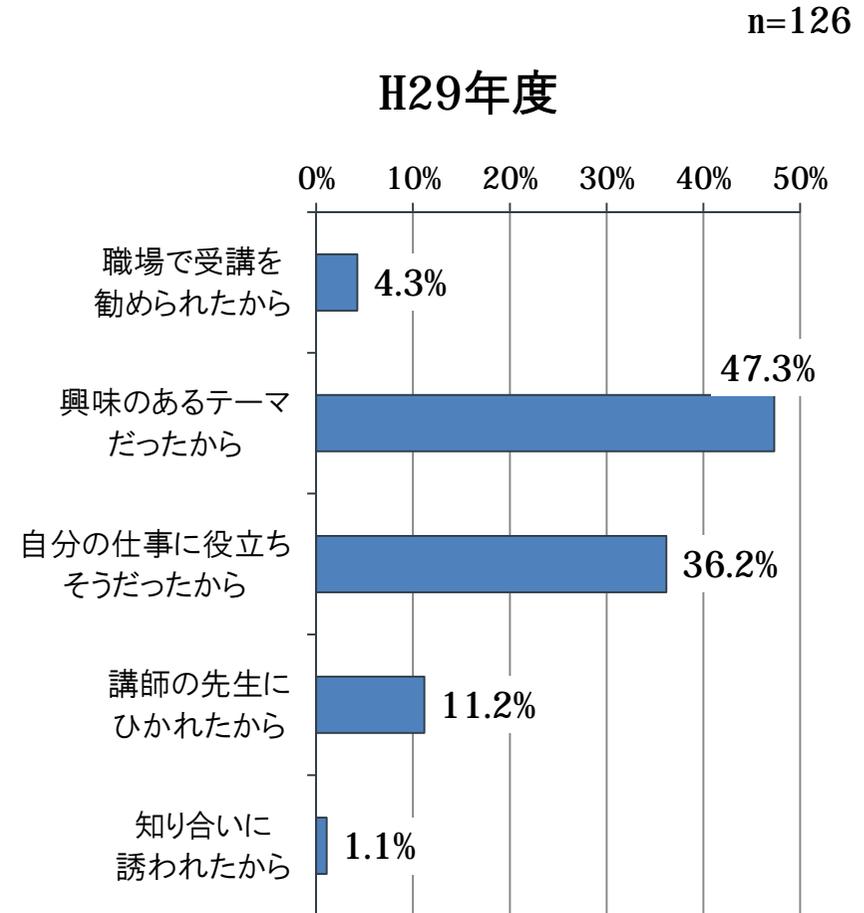
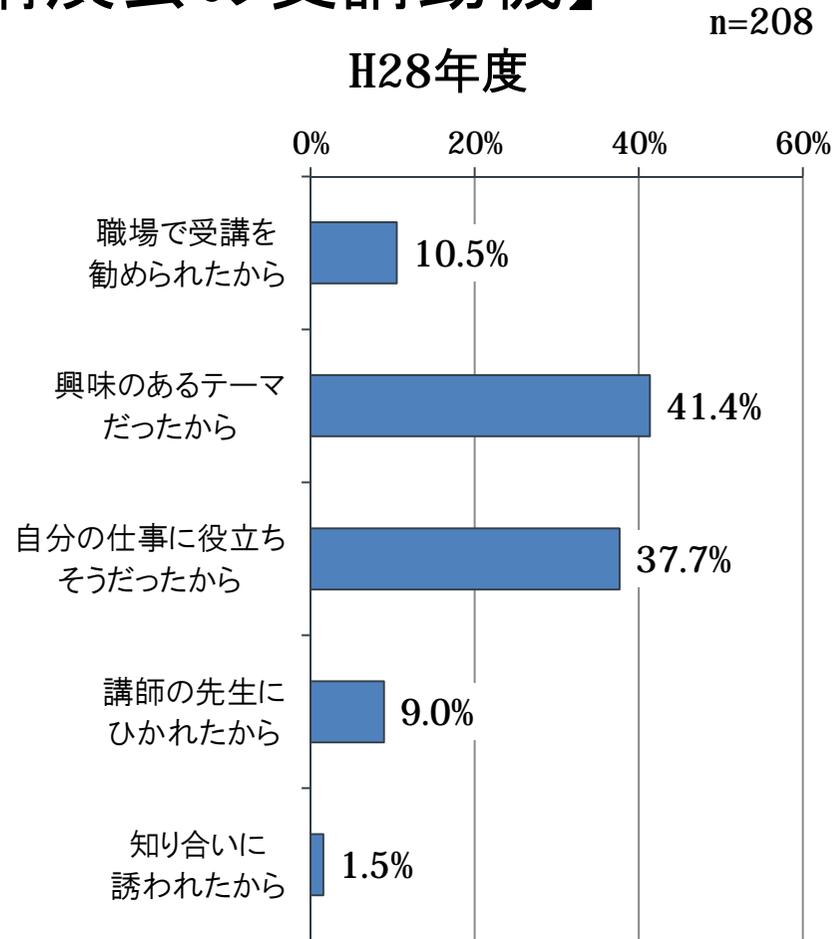


- 患者
- 家族
- 医療従事者
- 学校教職員
- 幼稚園職員
- 保育園職員
- 行政関係職員
- 未記入

⇒様々な属性の方が参加しているが、中でも子ども達に関わる職種の参加率は、共に高くなっている。

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

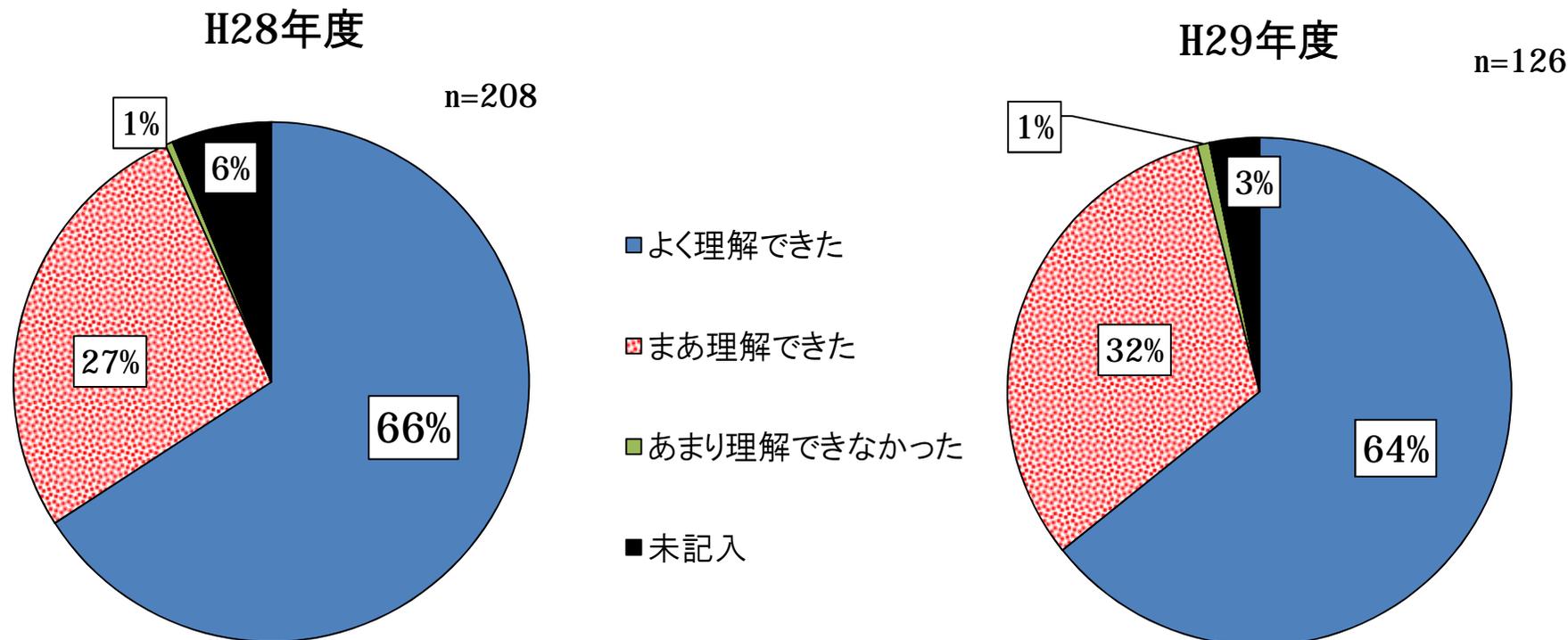
## 【講演会の受講動機】



⇒ 受講する動機も職種により違う

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

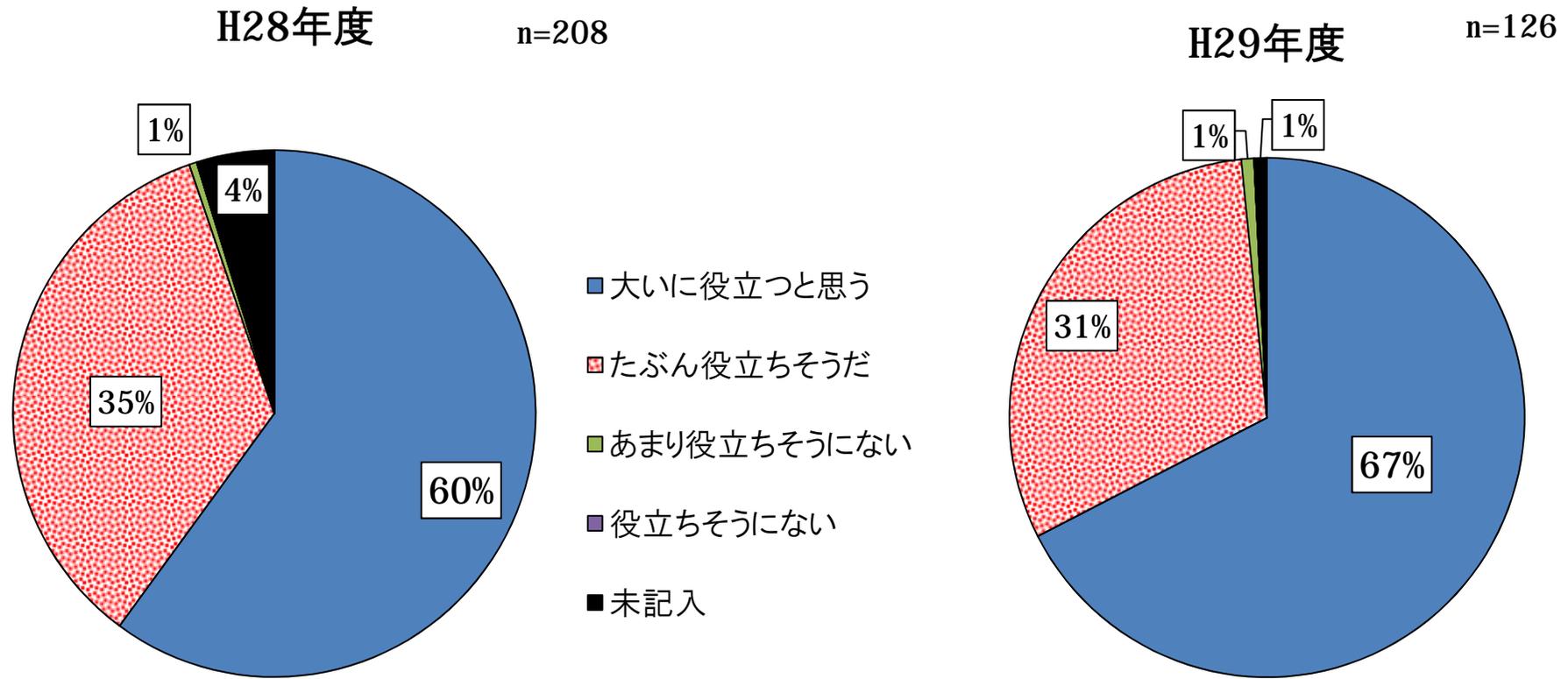
## 【講演内容の理解度】



⇒ 多くの府民の「アレルギー疾患」への理解度が高まっている。

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

## 【講演内容が役立つかどうか】

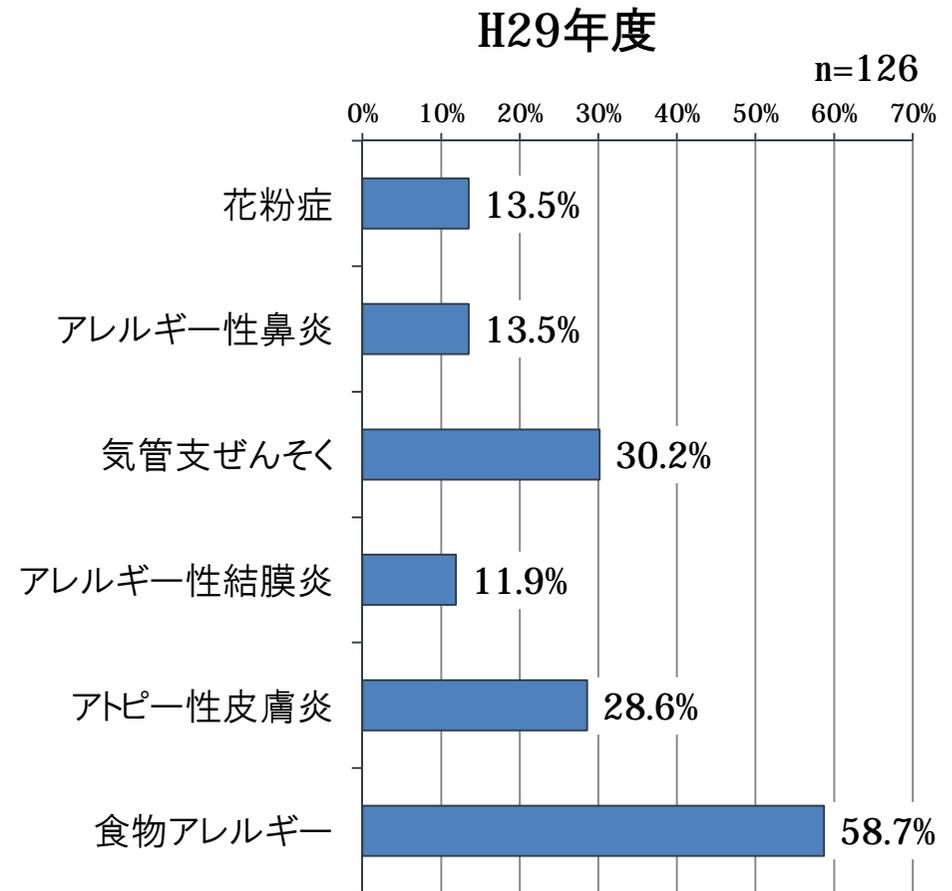
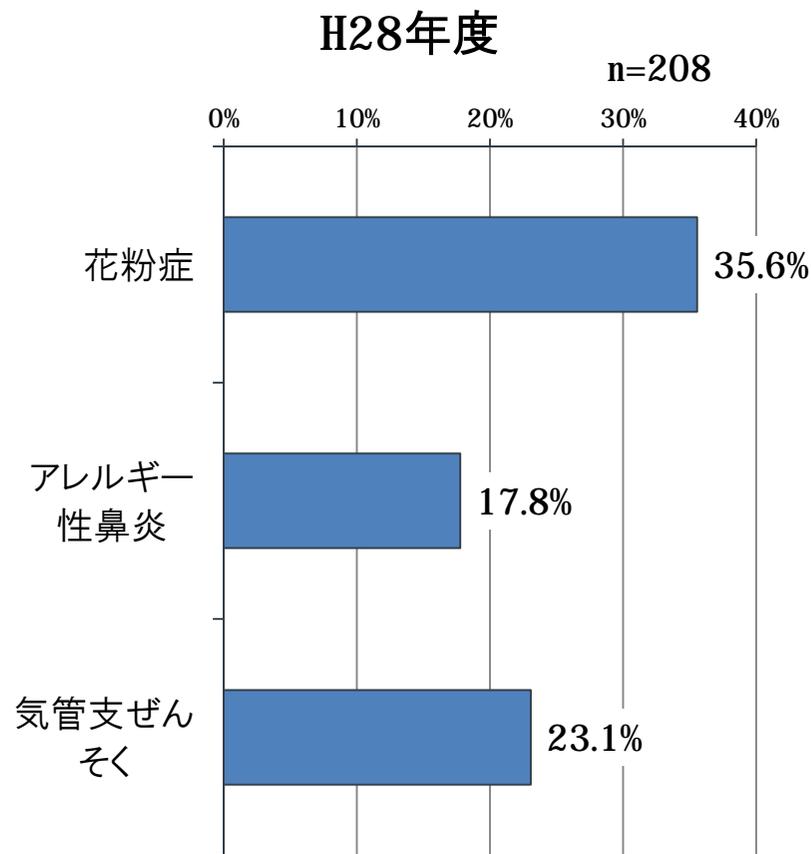


⇒ 結果から講演会開催のニーズの高さがうかがえる

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

## 【講演会で今後とりあげてほしいテーマ】

※H28は、実施した講演テーマ以外を対象にした



⇒ 参加者の年齢層や属性から希望されるテーマは様々

# アレルギー疾患講演会 参加者アンケート調査結果

## 【講演会実施に向けた今後の課題】

- ・府民のアレルギーへの関心度は高い
- ・府民のアレルギーの理解度は年々、高まっている
- ・年代、職種により求めるテーマや内容は様々
- ・年代、職種により参加しやすい時期も様々

多くの府民に参加していただき、府民のアレルギーに関する理解度をさらに高めていくためには、様々なニーズに対応できる、きめ細やかな講演会の企画と内容の検討が必要

### (例)

- ・参加者の属性ごとにニーズを把握したうえで、属性に応じた講演を企画・実施
- ・各地域での事業実施検討(拠点病院の所在する医療圏域など)

# 施策2 アレルギー疾患医療提供体制の整備

## 目指す方向性

### 1. 診療ネットワークの構築

診療ネットワークの中心的役割を担うことが必要とされるため、アレルギー疾患に関して幅広い診療領域に対応できる病院を拠点病院として選定し、一般病院・診療所との間で診療ネットワークを構築し、拠点病院は、診断が困難な症例、標準的な治療が困難で症状が安定しない患者を診察、必要に応じて患者の紹介・逆紹介、情報の共有を行う。

⇒ 「大阪府アレルギー疾患対策連絡会議」で内容を検討し、府、拠点病院を中心に整備

### 2. アレルギー疾患医療に関わる人材の育成

府民が居住する地域に関わらず等しく、地域の一般病院や診療所において最新の医学的知見の基づいた標準的治療が受けられるよう医師をはじめアレルギー疾患に関わる医療従事者の育成を図る

⇒ 「大阪府アレルギー疾患対策連絡会議」で育成の方向性を議論し、拠点病院による研修を実施

## 医療提供に係る各機関の役割

### 1. 「大阪府アレルギー疾患医療拠点病院」の役割

#### 【診療】

難治性疾患の診断・診察等を行うとともに、府内の診療ネットワークの構築の中心を担う

#### 【情報提供】

患者家族・地域住民に対する情報提供や啓発を行うとともに府ホームページでの情報発信への監修、府民向け啓発に協力

#### 【人材育成】

・アレルギー学会の診療ガイドラインに基づく標準的治療の普及のため医師向けの研修の企画・実施  
・保健師、栄養士、福祉施設の職員に対する研修の企画・実施

#### 【医学的見地からの助言・支援】

学校・福祉施設、市町村への医学的見地からの助言及び支援

#### 【研究】

国や府が行う調査、研究等への協力

### 2. 一般病院・診療所・(かかりつけ医)の役割

診療ガイドラインに準拠した日常的な診療及び症状が安定しない患者には拠点病院を紹介

### 3. 薬局の役割

最新の科学的知見に基づいた適切な情報提供及び指導

# 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院選定の経過

- 選定の方法：公募による
- 公募の期間：H30年5月1日～5月18日
- 選定数：地域の实情や交通の利便性等を総合的に考慮し、概ね3～4か所
- 選定基準

## ①診療体制

アレルギー疾患の診療経験が豊富な知識と技能を有する医師を常勤で配置し、診断が困難な症例や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携して診断、治療、管理を行う体制が整っていること。

### 【評価したポイント】

⇒アレルギー学会専門医等の配置状況、アレルギー疾患に経験豊富なスタッフの配置、重症及び難治性のアレルギー疾患診療の実績の有無など

## ②情報提供

拠点病院として選定された場合は、アレルギー疾患に関する適切な情報の提供に取り組むこと。

### 【評価したポイント】

⇒患者や家族向けの講演会、行政と連携した普及・啓発、ホームページ等を通じた普及・啓発の実施

## ③人材育成

拠点病院として選定された場合は、アレルギー疾患医療に携わる医療従事者、保健師、栄養士や学校、児童福祉施設等の教職員等に対する研修や講習の実施にも積極的に関与すること。

### 【評価したポイント】

⇒患者や家族向けの講演会、行政と連携した普及・啓発、ホームページ等を通じた普及・啓発の実施

## ④研究

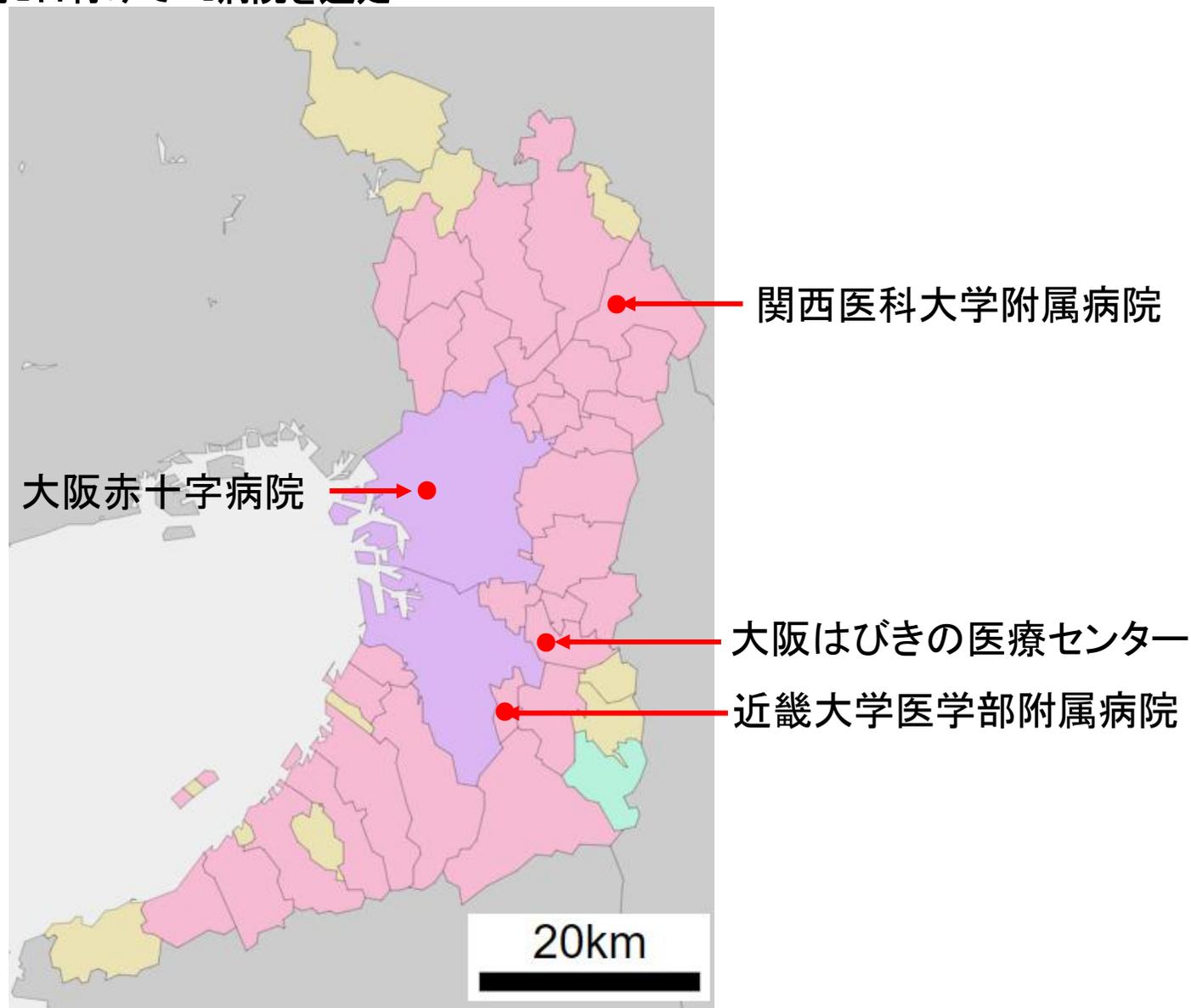
拠点病院として選定された場合は、大阪府におけるアレルギー疾患の实情を継続的に把握するための調査・分析を行い、都道府県によるアレルギー疾患対策の推進を支援すること。また、国が長期的かつ戦略的に推進する全国的な疫学研究、臨床研究等に協力すること。

## ⑤その他

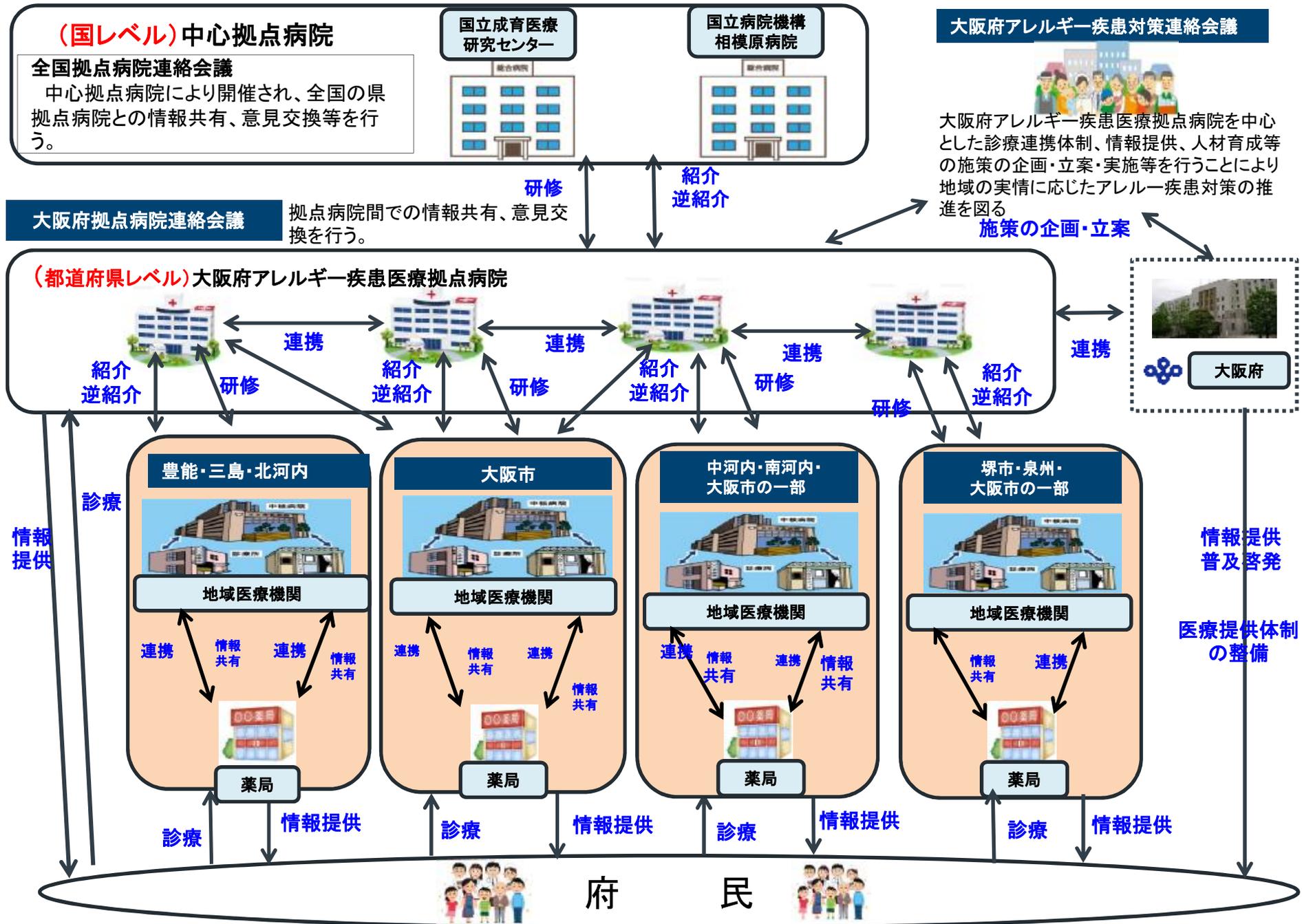
大阪府の各地域における学校や児童福祉施設等が抱えるアレルギー疾患に関する諸問題に対して、市町村の教育委員会や市町村の関係部局に対し、医学的見地からの助言、支援を行うこと。

# 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院について

公募の結果、7病院から応募があり、選定基準に基づき審査及び地域バランス等を総合的に考慮し、平成30年6月1日付けで4病院を選定



# アレルギー疾患医療における連携のイメージ図



---

**平成30年度**

**アレルギー疾患対策事業について**

大阪府平成30年度当初予算

**「アレルギー疾患対策事業費」**

**1,717千円**

**(1) 医療連絡協議会運営費 426千円**

都道府県連絡協議会運営にかかる費用（年2回開催予定）

**(2) 医療従事者等人材育成事業費 344千円**

- ・医療従事者等向け研修会開催にかかる費用
- ・中心拠点病院研修参加にかかる旅費

**(3) 情報提供・診療連携体制整備費 947千円**

- ・実態調査にかかる費用
- ・診療ネットワーク検討連絡会議開催にかかる費用
- ・拠点病院連絡会参加にかかる旅費（中心拠点病院で実施予定）

